

第 156 回 中材業務及び感染対策研究会 報告

新型コロナウイルス感染症が 2023 年 5 月 8 日からは感染症法の 2 類から 5 類へと変更されることが決定しました。行動制限がなくなることで、医療現場での感染対策方法を改めて考えなければいけない時期になってきています。

当研究会では中材業務の質の向上を目指しています。

今回は滅菌供給業務インダストリアルソリューションレクチャーとしてウォーシャーディスインフェクター・蒸気滅菌装置の物理的データの解説（その時出来で装置がどう作動しているのか？）と異常のデータについて教育公演として軟性内視鏡など内腔のあるものについて洗浄滅菌についての研修を行いました。内視鏡の洗浄は注目されている分野で、興味深かった内容で参加者もしっかり聞かれています。

午後からの特別講演では、チュービンゲン大学元中央滅菌部門部長・感染予防教育団体代表 トニーザネッティー氏から zoom をつないで、ドイツ・スイスでの CSSD スタッフの育成の取り組みを LIVE 講演でした。会場からの質問もあり盛り上がりました。



今回もたくさんの企業の方に展示ブースに参加していただき、盛況で現場でのサンプリングに役立てられたと思います。

質問コーナーも行列ができて、役員による現場の対策を聞いていただきました。

また、どしどし来て頂きたいです。役員も頑張りますので。

中材業務及び感染対策研究会

森 里美